

HC2 STD サンプラー

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

**【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

サンプラーの軸部は先端から約6cmのところでは折れるように切れ目が入っている。検体採取時に軸部が大きく曲がるほど強く押し付けたり、擦過したりすると切れ目の位置で折れる可能性があるため、検体採取時には十分注意すること。

＜その他の注意＞

1. キャップがしっかりと閉まっていること、サンプラーの先端が液中に入っていることを確認すること。
2. 輸送や凍結によって検体輸送チューブからキャップが外れないように検体採取後キャップをし、その上からパラフィルム等を巻くこと。

**【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
15～30℃で保管
2. 有効期間
外箱及び採取容器セットの裏面に記載

**【取扱上の注意】

1. 取り扱いの際は、保護衣、保護手袋及び保護メガネを着用すること。
2. 検体輸送液中には0.05%アジ化ナトリウムが含まれる。誤って酸と混ぜると有毒な気体が発生する可能性があるため、取り扱いには注意すること。又、万一気体を吸引し、身体に異変を感じた場合は、専門医を受診する等の処置を行うこと。
3. 本品を廃棄される際は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、医療廃棄物となるため、法律に従った適切な処理を行うこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

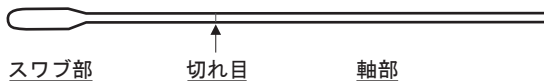
製造販売業者：株式会社キアゲン
TEL：03-6890-7300
E-mail：techservice-jp@qiagen.com
（問い合わせ先／テクニカルサポート）

外国製造業者：
QIAGEN Sciences LLC.（米国）

**【形状・構造及び原理等】

1. 形状、構造

本品（サンプラー）は、中空の軸の片側先端部分に繊維を巻きつけたものである。サンプラーは軸部と綿球状のスワブ部よりなる。軸部には切れ目がある。



2. 原理

軸部を持ち、スワブ部を子宮頸部の組織へ擦過することにより細胞を採取する。検体採取後のサンプラーを検体輸送液チューブに入れてキャップをすることができるよう切れ目部分にて、軸部を短く折る。

3. 構成

- ・STDサンプラー（滅菌済） 2本
（ポリスチレン、ポリエステル繊維）

4. 付属品

- ・検体輸送液チューブ（輸送液1.0 mL入り） 1本

**【使用目的又は効果】

検査のための試料を採取する器具
（子宮頸部細胞の採取を目的とする。）

**【使用方法等】

子宮頸部細胞の採取方法

1. 1本目のサンプラーを用いて子宮口と周辺の子宮腔部の過剰な粘液を取り除く。そのサンプラーは廃棄する。
2. 2本目のサンプラーを子宮頸管内に挿入し、5回交互に180度回転させ、擦過物を採取する。細胞変化領域が見られる場合は、その部分をしっかりとこすって採取する。
3. 陰粘膜との接触をさけ、検体を採取したサンプラーを慎重に取り出し、検体輸送液チューブの底まで入れ、サンプラーの軸を切れ目の入ったところで折ってしっかりとキャップをする。
4. 採取した検体は-20℃で3ヵ月、2～8℃で3週間、常温（15～25℃）で2週間保存ができる。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. 子宮頸部細胞診を実施する場合は、本品使用前に検体を採取すること。
2. コルポスコピーを実施する場合は、酢酸、ヨウ素の適用前に本品により検体を採取すること。